

1 学校教育目標

○よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○毎日が明るく楽しく、明日が待ち遠しい学校 ○「分かった。できた。」と達成感や成就感を味わえる学校 ○友達とふれ合い、人権や規律が守られ安心して過ごせる学校		
○児童・生徒像	○よく考える子………・基礎・基本の学力を身につけた子 ○思いやりのある子………・自分のよさや他の子のよさがわかる子 ○たくましい子………・基本的生活習慣を身につけた子	・気づき、考え、実行する子 ・相手の話をしっかり聞くことができる子 ・健康づくりにはげむ子	・自ら学ぶ姿勢を身につけた子
○教師像	○児童の学力向上や体力向上のため、惜しまず力を注ぐことのできる教師 ○一人一人の児童の人権を大切にし、児童、保護者、地域から信頼される教師 ○課題解決のためにチームとして力を合わせ、全力を出してやり遂げる教師		

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

- 児童について…学校全体としては明るく、素直な児童が多い。異学年との交流も多く、休み時間などでは、異学年と遊ぶ姿が見られる。学習面では、基礎的基本的な内容の確かな定着と活用力の向上が課題である。
- 教職員について…若手教員の割合が高い。「わかる授業・わくわくする授業・笑いのある授業」づくりに取り組んでいる。学校経営に参画する意識も高まっており、誠実に職務を遂行している。
- 保護者・地域について…保護者・地域の方々は、学校教育に理解があり、協力的である。開かれた学校づくり協議会の方々・保護者の方々には、毎朝児童の登校を見守っていただいている。学校行事では、保護者と地域の方々にご協力いただき、子どもたちの笑顔あふれる時間となっている。

【前年度の成果と課題】

1－重点的な取組事項 学力向上

- 区学力調査では、国語の通過率は85.6%で、昨年と比較すると5.9ポイント上昇した。課題であった「書くこと」「読むこと」は、説明的文章の読み方、自分の考えや根拠を明らかにして記述についての指導が成果を上げた。算数の通過率は85.5%で、昨年と比較すると6.5ポイント上昇した。課題であった「図形」は、繰り返し学習と課題解決型学習の指導の充実が成果を上げた。
- 授業では多くの機会でICTを活用した。AIドリルと共に効果的に活用を工夫していく。

2－重点的な取組事項 楽しい学校生活の実現

- 肯定的に「学校が楽しい」は86.4%（昨年度より+2.5）、「自分にはよいところがある」と回答した児童は76.4%（昨年度より+5.6）であった。児童に「分かった。できた。」と達成感や成就感を味わえる授業づくりと一人一人の児童に居場所のある学級づくりに今後も努めていく。

3－重点的な取組事項 体力向上

○都の平均を上回った種目数は、昨年度より4種目増え、96種目中62種目（65%）あった。反復横跳び・シャトルランは良好で、50m走・ボール投げに課題がある。

○肯定的に「すすんで運動をしている」と回答した児童は（昨年度より+8.7で）81.3%であった。今後も運動に親しませるため、外遊びの励行や体育科指導の改善を図る。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R: 令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	楽しい学校生活の実現	○	○	○	○	○
3	体力向上	○	○	○	○	○

5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－ 1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標			達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●
授業力向上により、児童の学習意欲を高め基礎学力を向上させる。			区学力調査目標通過率 国語 80% 算数 80%		区学力調査通過率 国語 83.1% 算数 82.3%		昨年と比較すると、2教科平均の通過率は2.7 ポイント下回った。目標値は、2.7 ポイント上回った。		○
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (＝数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業力の 向上	全学年 4教科	・通年	・管理職による授業観察と指導・助言 ・教科専門指導員による授業観察と指導助言 ・相互授業参観、OJTの実施	・児童 アンケート	・授業がわかる 90%	・授業がわかる 86.8%	昨年度より、1.5 ポイント下がった。児童の学習意欲を高め、足立スタンダードに基づく授業づくりに努める。	○

2 継続	ICT を活用 した学習	全学年 4 教科	・ 通年	・ 視覚的にわかりやすい授 業づくり ・ 授業の展開時での効果的 な活用	・ 実施報告	・ I C Tを週 5 回以上活用し た授業	・ I C Tを週 5 回以 上活用した授業は実 施した	今後も児童の学習内 容の理解と学習意欲 を高められる活用を 図る。	○
3 継続	AI ドリル の活用	全学年	・ 通年	・ 朝学習、補充学習、授業 等での活用 ・ 家庭学習での活用	・ 実施状況の 確認	・ 月 300 問 回答	月平均回答数 約 360 問	A I ドリルの活用は 定着している。今後 も積極的に活用して いく。	◎
4 継続	補充授業	全学年	・ 通年	・ 月 1 時間、補充授業の実 施 ・ 複数体制での実施 ・ 区調査の活用	・ 算数のまと めワークテス ト	・ 7, 12, 3 月のま とめのワーク 1～4 年 80% 5・6 年 75% 通過率 80%	・ 7 月 73.5% ・ 12 月 72.5%	基礎的基本的な学習 内容の定着を図るよ うに指導計画を工夫 する。	△
5 継続	放課後 補充教室	全学年 国語 算数	・ 通年	・ 月 3 回程度の放課後の 放課後補充教室の実施 ・ 全教職員による取組	・ 実施報告 ・ 算数のまと めワークテス ト	・ 25 回程度実施 ・ 7, 12, 3 月のま とめのワーク 1～4 年 80% 5・6 年 75% 通過率 80%	・ 各学年 25 回程度実施	個人面談期間中に実 施するなど、工夫し ていく。	△
6 新規	区調査の 活用	全学年 国語・算数	・ 2 月	・ 区学力調査を活用した 定着度調査 ・ 補充授業、教室の実施	・ 実施報告	・ 4 月調査 通過率以上	・ 通過率 66.7%	学習内容の定着を図 るように補充等を工 夫する。	△
7 継続	家庭学習 の充実	全学年 算数・国語	・ 毎日 ・ 年 3 回	・ 「家庭学習のてびき」を 活用した家庭との連携 ・ 家庭学習週間の設定	・ 実施報告	・ 宿題の提出率 90%	・ 宿題の提出率 89%	音読・漢字・計算を 中心に、自主学習も 課題とした。A I ド リルも積極的に活用 した。	○
8 継続	夏休み 学習教室	全学年 抽出児童 算数	・ 夏休み 期間中 10 日	・ 全校による指導体制 ・ 区学力調査等で把握した 学習内容の定着	・ 確認テスト の実施	・ 確認テストで 正答率 10%以 上のアップ	9 月の確認テストで 正答率 25 ポイントの 向上	補充学習を充実さ せ、確かな定着を図 る。	○

重点的な取組事項－２		楽しい学校生活の実現			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
学校が楽しい児童を増やす		学校が楽しい児童 90%	学校が楽しい児童 88%	昨年度より 1.6 ポイント上昇した。	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
一人一人の居場所となる学習環境・生活環境づくり	学校が楽しい児童 90%	・児童が分かる授業づくり ・居心地のよい学級づくり ・特別支援教育の推進 ・ふれあい月間の取組	学校が楽しい児童 88%	学校行事やたてわり班活動では、児童は生き生きと活動した。楽しい授業と居心地のよい学級づくりに努める。	○
自己肯定感の向上	自分にはよいところがある児童 80%	・一人一人の活躍の場づくり ・道徳科授業の充実 ・縦割り班活動、学校行事の充実	自分にはよいところがある児童 74.1%	昨年度より、2.5 ポイント下がった。児童の活躍の場を設け、肯定的な支援をすすめ、児童の自己肯定感を育んでいく。	△
基本的生活習慣の確立	早寝・早起き・朝ごはんの習慣が定着した児童 80%	・生活習慣チェック（年3回） ・「早寝・早起き・朝ごはん」週間の設定と保護者への啓発	早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いている児童 75.8%	昨年度より、5.6 ポイント上がった。どの児童も身に付くよう、家庭と連携していく。	△

重点的な取組事項－３		体力向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力向上		都の平均を上回るスポーツテストの種目数 65%	都の平均を上回った種目は、56% (54 種目)であった。	体育科指導の充実と遊びの励行を図る。	△
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力向上	スポーツテストの結果で都平均を上回る種目数 65%	・体育科指導の改善 ・実技研修会の実施	都の平均を上回った種目は、56% (54 種目)であった。	体育科指導の改善と 50m走・立幅跳び・ソフトボール投げの力を高める指導を工夫していく。	△

運動に親しむ児童の育成	運動が好きな児童 85% すすんで運動をしている児童 80%	・体育行事の充実 ・体育朝会の充実 ・外遊びの励行	運動が好きな児童 82.1% すすんで運動をしている児童 80.4%	昨年度より、それぞれ2.3・0.9ポイント下がった。体育科指導の改善や外遊びを励行する。	○
-------------	--	---	--	---	---

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

1－重点的な取組事項 学力向上

○区学力調査では、国語の通過率は83.1%で、昨年より2.5ポイント下がった。課題であった「書くこと」「読むこと」は、説明的文章の読み方、自分の考えの理由や根拠を記述する機会を増やすなどの指導の工夫が成果を上げた。算数の通過率は82.3%で、昨年より3.2ポイント下がった。課題であった「図形」は、繰り返し学習と課題解決型学習の指導の充実が成果を上げ、区平均を上回った。データの活用については、区平均を大きく上回った。

○授業では多くの機会でICTを活用した。AIドリルと共に効果的に活用を工夫していく。

2－重点的な取組事項 楽しい学校生活の実現

○肯定的に「学校が楽しい」と回答した児童は、88%（昨年度より+1.6）、「自分にはよいところがある」と回答した児童は、74.1%（昨年度より-2.5）であった。学校行事やたてわり班活動では、児童は生き生きと活動した。楽しい授業と居心地のよい学級づくりに努める。児童の活躍の場を設け、肯定的な支援をすすめ、児童の自己肯定感を育んでいく。

3－重点的な取組事項 体力向上

○都の平均を上回ったのは昨年度より8種目減り、96種目中54種目（56%）あった。反復横跳び・シャトルランは良好で、50m走・立ち幅跳び・ボール投げに課題があり、指導方法を工夫していく。

○肯定的に「すすんで運動をしている」と回答した児童は80.4%（昨年度より-0.9）であった。今後も運動に親しみ、体力を向上するために体育科指導の改善や外遊びを励行する。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

日頃より、保護者、地域の皆様に学校教育へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。また、開かれた学校づくり協議会の方々には、毎朝の児童の登校の見守りをしてくださり感謝しております。授業公開・学校行事・PTA行事等とおして、子供たちの学校での様子や子供たちの頑張る姿を見ていただけたと思います。今後も子供たちの健やかな成長のため、家庭・地域・学校が同じ方向を向き、連携していきたいと考えます。

これからも、子供・保護者・地域の方々に魅力のある「明るく楽しい学校」づくりを目指してまいります。

(3) その他（学校教育活動全般について）

本年度は、校庭工事でご迷惑をお掛けしました。運動のしやすい人工芝、固定施設が利用しやすくなり、子供たちは様々な遊びや運動を楽しんでいます。教育環境を整備してくださり、感謝いたします。今後も本校の教育活動に、ご理解とご支援をお願いいたします。